

〔曲名〕 Souvenir de Varsovie

ワルソーの思い出

〔曲種〕

〔作曲者〕 Silvio Ranieri

シルヴィオ ラニエーリ

〔編曲〕 中野二郎

Jiro Nakano

シルヴィオ・ラニエーリは1882年11月6日ローマに生まれ1956年11月20日ブルッセルに逝いた著名なマンドリニスト。

16才でマンドリニストとしてデビュー、ヨーロッパ各都市を巡演し、1901年以降ブルッセルに定住し、ベルギー王室付音楽家として重用された。

作品としてもっとも著名なものは二長調マンドリンコンチェルトと本曲ワルソーの思い出、夏の唄、ハイドンの主題による変奏曲等があるが、

技術的に難曲が多く、本邦では余り弾かれていない。

独奏家として活躍した時代のレパートリーはパガニーニ、ヴェータン、ウィニアウスキ、サラサーテ等のヴァイオリン曲が主で、

従って作品の内容も少々（しょうしょう）ヴァイオリン曲に近い感じを受ける。

本曲ワルソーの思い出は1911年フランスで出版されたもので30才以前の作品と云うことになる。

ポーランドのマンドリニストで彼の門弟であるレオン・サヴィッキーに贈ったもので、悲歌、クラコヴィアク、ポロネーズ舞曲の三楽章に分かれている。

憶うにサヴィッキーの祖国ポーランドの歴史に想いを馳せ、悲歌に始まり、二つのポーランド舞曲を配したものであろう。

マンドリン古典合奏曲集30集より

